

デーリー東北

2018年(平成30年)9月22日(土曜日)(20)

ソバ「階上早生」生誕100年記念 地元の思い。ポスターに

階上

今年で生誕100年の階上産のソバ品種「階上早生」のPRを強化しようと、階上町は八戸工業大の学生や地元関係者と協力して記念ポスターの制作を進めている。
(田中周菜)

階上早生は大正7(19)後、青森県奨励品種に採用18年に命名され、その



ポスターの最終案を示す八戸工業大感性デザイン学部の学生

今月末から掲示 八工大生がデザイン協力

18日は、ソバの生産者や観光関係者ら11人が、同町のわっせ交流センターでデザイン案を話し合った。最終案として、黄色をベースに「ソバに関わる人の温かみを表した」作品と、数字の「百」をソバの実で表現した作品の2種類が決まった。

同大感性デザイン学部の学生2人は制作に当たって、歴史を勉強したり、生産者やそば打ちの関係者に話を聞いたりした。長谷川優真さん(19)は「2年間は「地元の人の思いやりが詰まっているのを感じた」と感想。同町出身の三浦朋美さん(19)は「努力してソバを作り上げてきた人々の歴史を改めて知ることができた」と感心していた。

ポスターは10月20、21日に同町で開かれる「階上早生そばまつり」を前に、今月末から10月初めにかけて、町内各所に掲示される予定。